

フレアフォネット No. 137Ⅲ

【禁忌・禁止】

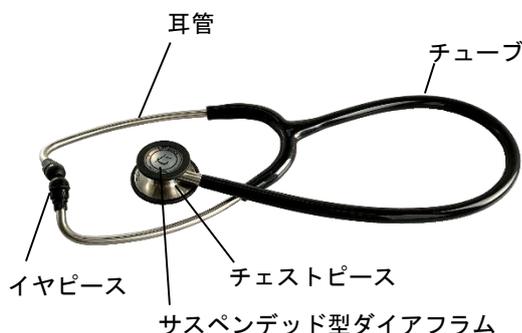
「使用方法」

- イヤピースが耳管に装着されていない場合は、使用しないで下さい。[耳管の金属部分で耳に傷をつけることがあります。]

【形状・構造及び原理等】

本品は、チェストピース、チューブ、耳管、イヤピースで構成される。

〈聴診器外観図〉



チェストピースから聴取された音はチューブ、耳管を通り左右の耳に送られます。

〈患者装着部組成〉

サスペンデッド型ダイアフラム:ウレタン/ガラスエポキシ

【使用目的又は効果】

生体音を聴き取る。

〈注意〉

正確に聴診をするためには、静かな場所でおこなって下さい。

【使用方法等】

- ・ 取扱説明書に基づき、耳管の角度を調整して下さい。
- ・ 耳孔に合わせ、イヤピースを耳に装着して下さい。
- ・ チェストピースのダイアフラム面を聞きたい部位に合わせ、静かに生体音の聴取を行って下さい。

【使用上の注意】

- ・ チェストピース(ダイアフラム面)を叩かないでください。
[ダイアフラムを傷めたり、耳管を装着している場合は耳に障害をきたす可能性があります。]
- ・ 性能を十分に活用するために各部分の取付けが緩んでいないか確認して下さい。[緩んでいる場合は確実に装着して下さい。]
- ・ 耳管、チューブ、チェストピースの音道の中に異物が入らないよう留意して下さい。[故障の原因になります。]

【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉

- ・ 急激な温度変化のある所、極度に高温や低温になる所、湿度の高い所、直射日光の当たる所、ほこりの多い所、化学薬品の保管場所やガスの発生する所を避けて下さい。
- ・ チューブを折り曲げたまま長時間放置しないで下さい。チューブの寿命が短くなります。

〈耐用年数〉

- ・ チェストピース:5年(当社データによる)

【保守・点検に係る事項】

- ・ チューブは皮脂等の影響で硬化が促進されます。保管条件によっては1年間程度のご使用でチューブが硬くなることがありますので、ご使用後は付着物をよく拭き取って下さい。
- ・ 本器が汚れた時は、柔らかい布でからぶきをして下さい。汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤をつけた布で汚れを落とした後、からぶきして下さい。
- ・ 故障したときは、お買い求めの販売店にご連絡下さい。

【製造販売業者および製造業者の氏名または名称等】

〈製造販売業者および製造業者〉

ケンツメディコ株式会社
 TEL 0495-71-1001